

中谷義和教授 略歴・主な業績

略 歴

略 歴

- 1942年 6月 富山県東砺波郡般若野村常国（現・高岡市）に生まれる
1962年 3月 富山県立砺波高等学校卒業
1966年 3月 明治大学政治経済学部政治学科卒業
1974年 3月 明治大学政治経済学研究科博士課程終了（政治学博士）

職 歴

- 1977年 4月 中央大学経済学部助教授就任
1986年 4月 中央大学経済学部教授就任
1987年 4月 立命館大学法学部教授就任
2008年 3月 立命館大学定年退職
（上記のほか、1994年 9月～1995年 9月、トロント大学客員研究員を、
また、中央大学、都留文科大学、早稲田大学、千葉大学、明治大学、
横浜国立大学、富山大学の各非常勤講師を務める）

主な業績

著 書

- 『アメリカ南部危機の政治論』 J. C. カルフーンの理論』
御茶の水書房（1979年 4月）
『政治学入門 歴史と概念』
法律文化社（1998年 6月）
『草創期のアメリカ政治学』
ミネルヴァ書房（2002年 3月）
『アメリカ政治学史序説』
ミネルヴァ書房（2005年 2月）

『グローバル化とアメリカのヘゲモニー』

法律文化社(2008年4月1日)

編著書

『グローバル化理論の視座：プロブレマティーク&パースペクティブ』

法律文化社(2007年9月)

共編著

『現代政治の理論と動態』

童学草社(1986年5月)

『講座 現代の政治学 現代政治の理論と思想』

青木書店(1994年3月)

『比較政治制度論(初版)』

法律文化社(1994年10月)

『現代の政治理論家たち 21世紀への知的遺産』

法律文化社(1997年5月)

『比較政治制度論(第2版)』

法律文化社(1999年3月)

『グローバル化と現代国家 国家・社会・人権論の課題』

御茶の水書房(2002年3月)

『比較政治制度論(第3版)』

法律文化社(2006年5月)

共著

『講座 現代資本主義』

大月書店(1980年)

『政治思想史：保守主義の生成と発展』

昭和堂(1983年)

『現代世界と国民国家の将来』

御茶の水書房(1990年2月)

『日本の政治』

法律文化社(1992年4月)

『現代国家の理論と現実』

『グローバル化のなかの現代国家』
中央大学出版部（1993年3月）

中央大学出版部（2000年11月）

単 訳 書

J. C. カルフーン 『政治論』（解説含む）

未 来 社（1977年3月）

C. E. メリアム 『アメリカ政治思想史』

御茶の水書房（1982年7月）

C. E. メリアム 『アメリカ政治思想史』

御茶の水書房（1983年3月）

B. ジェソップ 『国家理論 資本主義国家を中心に』（1994年度日本翻訳文化賞）

御茶の水書房（1994年8月）

F. カニンガム 『現代世界の民主主義 回顧と展望』

法律文化社（1994年9月）

D. ヘルド 『民主政の諸類型』

御茶の水書房（1998年5月）

P. レズニック 『二十一世紀の民主政』

御茶の水書房（1998年12月）

J. G. ガネル 『アメリカ政治理論の系譜』

ミネルヴァ書房（2001年12月）

J. G. ガネル 『アメリカ政治学と政治像』

御茶の水書房（2007年10月）

監 訳 書

C. E. メリアム 『政治学の新局面』

三 嶺 書 房（1996年7月）

D. ヘルド 『グローバル化とは何か 文化・経済・政治』

法律文化社（2002年10月）

A. T. カリニコス 『第三の道を越えて』

日本経済評論社（2003目7月）

D. ヘルド / M. アーキブージ 『グローバル化をどうとらえるか ガヴァナンスの
新地平』

法律文化社(2004年4月)

B. ジェソップ『資本主義国家の未来』

御茶の水書房(2005年3月)

共 訳 書

B. ジェソップ『資本主義国家』

御茶の水書房(1983年7月)

ラルフ・ミリバンド『階級権力と国家 政治論集』

未 来 社(1986年11月)

B. ジェソップ『ブーランザスを読む マルクス主義理論と政治戦略』

合 同 出 版(1987年2月)

F. カニンガム『民主主義理論と社会主義』

日本経済評論社(1992年5月)

J. H. ミッテルマン『グローバル化シンドローム 変容と抵抗』

法政大学出版部(2002年6月)

D. ヘルド, A. マッグルー『グローバル化と反グローバル化』

日本経済評論社(2003年11月)

F. カニンガム『民主政の諸理論 政治哲学的考察』

御茶の水書房(2004年3月)

D. ヘルド『グローバル社会民主政の展望 経済・政治・法のフロンティア』

日本経済評論社(2005年1月)

翻 訳

J. G. ガネル「アメリカ“多元主義”の系譜」

立命館法学(1995年9月)

F. カニンガム「カナダ/ケベックの難問 三民族型パースペクティブ」(共訳)

立命館法学(1996年10月)

E. ベルンドソン「主権から権威と影響力へ 民主主義理論における権力の系譜学へ向けて」(共訳)

立命館法学(1996年8月)

F. カニンガム「グローバル化の時代 C. B. マクファーソンの民主政論」

人文研学術シンポジウム(2007年6月)

論 文

- 現代アメリカの政治的諸相と諸理論
中央大学社会科学研究所 (1985年)
- アメリカ革新主義期の国家像の模索 H. クローリの場合
中央大学論集 (1986年3月)
- 戦後合衆国政治学研究序説(一)
立命館法学 (1990年6月)
- メリアム政治学の脈絡化 ひとつの解釈
立命館法学 (1995年10月)
- Contextualization of Political Studies in Charles E. Merriam: An Interpretation (英文)
Ritsumeikan Law Review (1996年3月)
- 草創期のアメリカ政治学 F・リーバーの政治論
立命館法学 (1996年6月)
- ダールのポリアーキー民主政論
立命館法学 (1997年3月)
- T. ウルズィの政治論
立命館法学 (1999年12月)
- Genealogy of Liberalism in American Political Science and the Case of Charles E. Merriam (英文)
The Public and the Private in the United States, JCAS National Museum of Ethnology (1999年12月)
- ジョン・W・バージェスの政治論 民族主義的国民国家の原理
立命館法学 (2001年2月)
- ジョン・W・バージェス小伝
立命学大学政策科学 (2001年2月)
- バージェスのアメリカ国家論
立命館法学 (2001年3月)
- Global Democracy: A Japanese Perspective (英文)
Ritsumeikan Law Review (2001年3月)
- 形成期アメリカ政治学序説(一)
立命館法学 (2004年6月)
- 形成期アメリカ政治学序説(二)
立命館法学 (2004年9月)

戦後アメリカ政治学小史

立命館法学(2004年10月)

H. J. フォードの政治論 アメリカ政党論と自然主義的国家観

立命館法学(2006年1月)

グローバル化と民主政の理論的諸潮流

聖学院大学総合研究所(2006年3月)

初期ラスキとアメリカ政治学

立命館大学政策科学(2006年3月)

アメリカのヘゲモニー ひとつの史的脈絡化

立命館法学(2007年3月)

グローバル化と現代国家 ひとつの視座

立命館法学(2007年12月)

Historical Contexts and Logics of American Expansionism (英文)

Ritsumeikan Law Review (2008年3月)